

授業科目 福祉用具概論

【担当教員名】		対象学年	1	対象学科	義肢
飯塚 尚、蛭名 真知子、加島 守、 牧野 美奈子		開講時期	前期	必修選択	必修
		単位数	1	時間数	15
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎		○			
【一般目標：G10】					
福祉用具を扱う専門職に必要な基礎知識を身につけるために、対象者と日常生活動作、福祉用具の定義・分類と用途、福祉用具に関わる制度および専門職の役割について理解する。					
【行動目標：SBO】					
1. 人の生活行為について説明できる。 2. 対象者の生活、行動と心理について説明できる。 3. リハビリテーションの概念について説明できる。 4. 介護の概念と目的、基本技術について説明できる。 5. 福祉用具の定義や分類、使用目的について説明できる。 6. 福祉用具の支給に関わる制度について説明できる。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	人の生活行為（介護に関する知識 1.5h）			1	講義
2	疾病と障がい（医学の基礎知識 1.5h）			1-2	講義
3	高齢者や障がい者の生活、行動と心理（高齢者等の心理 1.5h）			1-2	講義
4	リハビリテーションの概念と目的（リハビリテーション概要 1.5h）			3	講義
5	介護の概念と目的、基本技術（介護技術 1.5h）			4	講義
6	福祉用具概論Ⅰ（介護場面における福祉用具の活用 1.5h）			5	講義
7	福祉用具概論Ⅱ（介護場面における福祉用具の活用 1.5h）			5	講義
8	福祉用具・機器の支給制度（老人保健福祉制度の概要 1.5h）			6	講義
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		福祉用具専門相談員研修用テキスト 六訂	(株) シルバーサービス振興会	中央法規	2012・3,500円＋税
参考書					
その他の資料					
【評価方法】			【履修上の留意点】		
以下2項目で総合評価する： 1. 知識習得レベル（筆記試験） 2. 学習態度（出席状況等）			本科目の授業項目は『福祉用具専門相談員講習会』の内容に基づく。 また、福祉用具プランナー資格試験受験（4年次）に関わる必須科目である。		